



二塚小だより

平成27年10月
高岡市立二塚小学校
学校だより

創校140周年記念式典・学習発表会

校長 亀田 倫子

高く澄みわたる青空に深まりゆく秋を感じる今日この頃です。
保護者や地域の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

10月11日（日）の創校140周年記念式典と学習発表会には、ご来賓の皆様をはじめ、多数の保護者や地域の皆様にご来校いただき、盛大に行うことができました。深く感謝申し上げます。また、記念事業実行委員会 会長 青木 誠 様をはじめ実行委員の皆様やPTA会長 松崎 義郎 様 はじめPTA会員の皆様には、物心両面にわたってご支援・ご協力いただき、本当にありがとうございました。



記念式典に引き続いて行いました祝芸では、3年生の発表「二塚小の始まりから現在まで」、5・6年女子による舞踊「二塚の四季」、そして、PTAふれあい合唱「ふるさと」が披露されました。どれも、二塚小学校の歴史や伝統、よさを感じさせてくれる内容で大変好評でした。

学習発表会では、児童会のスローガン「祝おう140周年 開こう次の1ページ」のもと、随所に、学校の誕生日をお祝いする言葉や歌、作品を盛り込むとともに、子供たち一人一人が新しい歴史を作っていくのは自分だという気持ちをもって取り組みました。

絵画や工作、書写等の作品製作はもちろん、ステージ発表の練習にはどの学年も熱が入りました。

個々の力を引き出し、集団の力に高めていくことは容易ではありません。「子供たちの輝く姿を見てもらいたい」という先生方の熱意は、本番が近づくにつれてより高度な演技や表現を求めるようになります。限られた時間の中で精度を上げていくためには、きびしい練習や我慢しなければならない場面も出てきます。「先生の期待の応えたい」「もっとよいものにしたい」と、友達や先生と話し合ったり繰り返し練習したりして、一つの作品に仕上がっていききました。

教員にとっても、学習発表会では、指導力だけでなく発想の豊かさやアイディアが要求されます。台本選びからステージの構成、振り付け等、ほとんど担任一人で進めていく本校では、その重圧は大変なものです。

当日、歌い踊り、精一杯演技し発表する子供たちの姿、先生方の子供たちを見守る真剣なまなざしと終わったときのほっとした笑顔、そして、観客席からの大きな拍手、会場にいる全員の心が一つになったようで胸がいっぱいになりました。

校長室の壁に「師弟一如」と書かれた額が飾ってあります。「師と弟子は一体である」という意味です。先生と子供、保護者、地域の皆様が一体となった、すばらしい記念式典であり学習発表会だったと思います。本当にありがとうございました。

芸術の秋からスポーツの秋へ、子供たちは今、持久走大会に向けて走り始めました。新しい目標に向かって進む子供たちと共に、私たち教職員も進みます。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

二塚小学校

検索

二塚小学校の様子は、
ホームページをご覧ください



創校140周年、開こう次の1ページ

教頭 大谷 行和

今から20年前。平成7年、創校120周年のとき、私は二塚小学校に勤務し、第4学年を担当していました。記念の学習発表会では「富山大好き！二塚っ子！！」のステージ発表をしました。当時、富山県は「花と緑の県」、「科学と文化の県」、「健康とスポーツの県」という3つの日本一を目指していることを社会科で学習し、このことをまとめて発表しました。終わりの場面での言葉は、「富山県となってから、今年は112年になりますが、二塚小学校はさらに伝統が古く120周年を迎えています。ぼくたちは、このような伝統のある富山県、二塚小学校をほこりに思っ、いつまでも大切にしていきたいと思ひます。富山 大好き！二塚っ子！！」でした。懐かしく思ひ出します。

20年の月日が過ぎ、今年の3年生は、二塚小学校の歴史を調べて発表しました。

創校当時は浄誓寺の堂宇を仮校舎とし、約19年間は寺院や一般民家を借用していたこと、地域の方々が熱望されて完成した新校舎がわずか3年で大洪水と暴風により流される大惨事になったこと、戦時体制下における苦しい学校生活のこと、創校100周年ときには現体育館が完工し、地域のみなさんが喜びに満ちあふれたことなどを紹介し、「二塚小学校ができて140年、私たちのお父さん、お母さん、お祖父ちゃん、お祖母ちゃん、そのまたお祖父ちゃん、お祖母ちゃんと、とてもとても長い間、温かく包み、励まし育ててくれました。二塚小学校は私たちの大きなお母さん、二塚小学校はぼくたちの母校。これからは一生懸命勉強し、友達を思いやり、大きく成長することを約束します。」と結びました。



今年の学習発表会の児童会テーマを「祝おう140周年 開こう次の1ページ」として掲げて取り組みました。これからは私たち教職員は、水と緑に恵まれ、人間性豊かな地に育つ二塚っ子の新たな歴史の1ページを、子供とともに開いていきます。

終わりにになりましたが、創校140周年記念事業・記念式典の開催にあたり、保護者・地域の皆様からご協力をいただき、盛会のうちに終えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

今後とも、二塚小学校のために、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

元気いっぱい・虫ウィーク！！

2年担任 扇一 真由美

9月、今年も暑い夏が過ぎて秋になる時期をとらえ、2年生の生活科では、「虫となかよし」の学習を「虫ウィーク」と名付けて行いました。

空にトンボが飛んでいたり、草むらからコオロギの鳴き声が聞こえるようになってくると、虫に興味がある子は、目を輝かせ、わくわくして活動しました。もちろん虫が苦手な子もありますが、この機会に「ダンゴムシに触ってみよう」という目当てをもって取り組みました。

虫の飼育を通して、小さな命に触れることができます。子供たちは、この経験から、育てている虫をいとおしく思うようになります。そして、時に死に直面することから命への直接的なかわりを体験します。これが、人間同士、相手のことを考え、思いやる心を育むことにもなると思います。

今年の9月は、雨、雨の連続で、なかなか虫を探しに行くことができませんでした。晴れのチャンスがなかなかないので、ちょっと無理をして小雨のときに探しに行きました。案の定、虫はほとんど見つけることができません。雨のときは虫も雨宿りしていることを、子供たちは学んだようです。

そして数日後、天候に恵まれた午後、再挑戦で虫を捕まえにいったところ、ほとんどの子供が虫を見つけた、捕まえたことができました。教室に戻って、捕まえた虫をルーペや虫眼鏡で観察しました。いつもより大きく見える虫に時間を忘れてずっと眺めたり、虫の特徴をプリントに書いたりしました。

子供たちは、この学習を通して、さまざまな虫が何を食べて、どんな環境で暮らしているのか興味をもつことができました。命の尊さを知るには、実際に命ある生き物との触れ合い、関わりが重要です。そのためにも、私たち大人も、共に優しく動植物の世話をし、常に眼差しを注ぐ姿勢を子供たちに見せることが大事であると考えています。



11月の予定

4(水) 研修会＜児童は給食後、下校＞

6(金) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会富山大会(5、6年見学)
学習参観

家族学級(創校140周年記念コンサート)

11(水) 県西部小学校教育課程研究集会
＜児童は休業日＞

15(日) 資源回収

20(金) 家庭学習レベルアップ旬間

23(月) 勤労感謝の日

20(金) 歯科検診